

県政報告

広島県議会2月定例会は2月16日から3月14日までの27日間の日程で開催され、平成30年度当初予算、平成29年度2月補正予算及び関連する条例が審議されました。

平成30年度 施策及び事業の基本的な考え方

「欲張りなライフスタイル」の実現を目指して

- ◇ 県民のみなさんが仕事や暮らしに抱く希望をあきらめることなく追求することができる「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた取り組みによって、変化の兆しや成果が現れつつあります。
- ◇ これらの成果等をより確かな軌道に乗せ、次のステージにつなげていくためには、これまでの取り組みを着実に進めていくとともに、社会環境の変化に的確に対応していく必要があります。
- ◇ 今後、生産年齢人口割合の長期的な低下や第4次産業革命の進展による社会経済システム自体の変革などが予想されます。
- ◇ こうした環境の変化に対応して、意欲ある働き手の雇用の場をつくり、様々な状況にある人々が仕事と暮らしを追求し、個性と能力を発揮することができる「欲張りなライフスタイル」に支えられた経済・社会を構築していくことが必要となります。
- ◇ このため、「欲張りなライフスタイル」の実現に向けて、「イノベーション」「ファミリー・フレンドリー」「都市と自然の近接ライル」という3つの視点を広島県独自の強みとしながら、施策全体の統一性を持って最大限の効果が得られるよう取り組みを進めていきます。

《平成30年度 一般会計当初予算の概要》

平成30年度当初予算：**9,539億円**（前年度比2.5%減）

（国の補正予算を活用した平成29年度2月補正予算**164億円**と一体で編成）

平成30年度当初予算十平成29年度2月補正予算：**9,703億円**

平成30年度当初予算は、対前年度比▲240億円の減となっていますが、平成29年度2月補正（164億円）と一体で編成した結果、対前年度比▲76億円となります。

更に広島市への税源移譲の影響を除くと、対前年比は+131億円の増となります。

《平成 30 年度 重点施策への集中的な取り組み》

■「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた施策体系

希望をかなえるための後押し

- すべての子供が夢を育むことのできる社会づくり
- 社会で活躍する人材の育成
- 少子化対策
- 女性の働きやすさ日本一への挑戦
- 多様な人材の就職に向けた後押し

ゆとりの創出

- 働き方改革
- 第4次産業革命を好機とした生産性革命
- 中小企業・小規模企業の持続的な成長への支援
- イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化
- 多様な創業と新事業展開の促進
- 多様な投資誘致の促進
- 産業競争力の強化
- 世界と直結するビジネス支援
- 観光地ひろしまの推進
- 瀬戸内海の道構想の推進
- 担い手が生活設計を描ける農林水産業の確立
- 信頼される医療・介護提供体制の構築
- がん対策日本一に向けた取り組みの強化
- 健康医療情報等を活用した健康づくりの推進

地域活力の基盤づくり

- 中山間地域の地域力強化
- 都市圏の活力強化
- 東京圏等から広島への定住促進

暮らしを楽しむ機会の創出

- スポーツを核とした地域づくり
- 暮らしを楽しむための機会の創出に向けた取り組みの推進

災害に強いまちづくり

- ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策
- 減災に向けた県民総ぐるみ運動の展開

広島の価値の共鳴・共振

- 国際平和拠点ひろしまの形成
- 「ひろしま」ブランド価値向上の推進

「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた主要事業:571億円

重点施策	事業費	H30年当初予算	H29年2月補正
希望をかなえるための後押し	113億円	(113億円)	—
ゆとりの創出	112億円	(109億円)	(3億円)
地域活力の基盤づくり	8億円	(8億円)	—
暮らしを楽しむ機会の創出	3億円	(3億円)	—
災害に強いまちづくり	331億円	(211億円)	(120億円)
広島の価値の共鳴・共振	4億円	(4億円)	—
合計	571億円	(448億円)	(123億円)

■ 条例

【新設】

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項の規定に基づく職務権限の特例に関する条例 等 (4件)

【改正】

- 職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例 等 (24件)

【廃止】

- 広島県災害拠点病院等耐震化整備基金条例を廃止する条例 等 (6件)

■ 人事案件

- 広島県副知事の選任の同意について (1件)

■ その他議案

- 工事請負契約の締結について 等 (7件)

■ 180条専決処分報告

- 訴えの提起について 等 (4件)

■ 報告事項

- 請願の処理の経過及び結果報告 (1件)

■ 決議及び意見書

- 利用者保護等の観点から問題のあるライドシェアの導入の自粛を求める意見書
- 待機児童の解消を求める意見書
- 所有者不明の土地利用の促進を求める意見書

平成30年度当初予算について
～福山市の予算措置状況～

- 福山市への予算措置総額は、102億5,000万円余となっています。
妊娠・出産・子育てのワンストップ相談・支援窓口である「ひろしま版ネウボラ」の全県展開に先駆けたモデル事業について2年目の今年も市を支援するほか、鞆地区の活性化に向けて、雁木の復元工事や浸水対策、道路拡幅などを、市と連携しながら進めるとともに、地元や市からのご要望も踏まえ、山側トンネル案の調査に着手することとしています。
- あわせて、備後圏域の玄関口である福山駅前地区の活性化を図るための市の「福山駅前再生ビジョン」に係る検討に県からも職員が参画して共に協議を進めているなど、県と市が共有する課題について、引き続き、知事と市長の定期的な会談をベースとしながら、連携して取り組んで行くこととしています。

【福山市予算措置状況】

区 分	予算措置額	主 な 事 業
地域振興関係事業	8億7,966万円	鞆地区の振興、離島航路運航への支援、生活交通確保への支援 等
環境県民関係事業	3,716万円	小型浄化槽設置助成、消費生活相談窓口強化 等
商工労働関係事業	1億4,990万円	商議所補助、企業研究開発支援、観光振興
福祉関係事業	8億3,277万円	子育て支援・放課後児童クラブ補助、社会福祉施設整備、看護師養成支援、がん対策推進 等
土木関係事業	約68億8千万円	道路、河川、砂防、海岸、港湾、住宅、漁港 等
農林水産関係事業	約9億8千万円	ため池改修、基盤整備、藻場造成、山地治山、保安林整備 等
教育関係事業	4億4,231万円	県立学校の施設整備、歴史博物館・少年自然の家の運営費、文化財保存補助 等
その他	5,473万円	箕島産業廃棄物処分場覆土、消防大会支援
合 計	約102億5,653万円	

もう少し詳しい情報は
次頁を参照ください！

平成30年度当初予算 及び 平成29年度2月補正予算(国補正関連)

■福山市関係分の主要施策

区分	施策	予算額	備考
地域振興	● 鞆地区の振興	8億5,306万円	・まちなかの交通対策工事(土木建築局所管) ・防災対策(土木建築局所管) ・まちづくりの寄附募集(地域政策局所管)
	● 離島航路運航への支援	1,854万円	・走島～鞆航路
	● 生活交通確保への支援	456万円	・福山市が自主運行するバス路線への補助
	● 都市圏魅力創造事業	350万円	・福山駅前再生支援
医療・福祉・環境	● 小児救急医療体制の確保	1,334万円	・小児科輪番制の受入体制確保(4病院交代制)
	● 看護師養成所の支援	5,810万円	・運営費補助(2か所)
	● がん対策の推進	1,800万円	・がん診療連携拠点病院(3病院)への補助
	● 回復期病床の整備	5,649万円	・病床転換に要する経費に対する補助(1か所)
	● 市町子育て支援・放課後児童クラブ事業	3億6,115万円	・市の事業への補助
	● 社会福祉施設の整備	1億9,598万円	・施設整備改築費の補助(19か所)
	● 保育対策・認定こども園整備	1億270万円	・延長・病児保育、認定こども園整備への補助
	● 公園施設の維持修繕	607万円	・後山展望台手摺改修工事
	● 小型浄化槽設置整備	2,688万円	・市の浄化槽個人設置助成事業への補助
● その他 補助・助成事業	3,123万円	・感染症予防、少子化対策、外国人受入助成 等	
教育・文化	● 県立学校施設の整備	2億8,544万円	・松永 ～埋設給水管改修設計 ・福山誠之館 ～部室改築工事・崖地等安全対策工事 ・東 ～崖地等安全対策工事 ・福山商業 ～グラウンド改修工事 ・福山特別支援 ～バスヤード・スロープ改修設計、 厨房等改修工事 ・戸手 ～屋上防水設計・工事
	● 各種運営費 等	1億5,687万円	・歴史博物館、少年自然の家、文化財保存補助
商工	● 福山商工会議所への補助	490万円	・運営費及び事業補助
	● 産学官共同研究の機器整備・人材育成	1億円	・東部工業技術センター
	● 観光振興	(4,500万円の内数)	・市・民間事業者等の支援(市の予算額に応じ助成)
農林	● 公共事業(農林)	約9億7千万円	・ため池改修・河川応急・耐震診断(県営、団体営) ・基盤整備(箕島町、神辺町) ・藻場造成 ・山地治山(神村、加屋、草戸、赤坂、新市、 内海、福山西、山手) ・保安林整備(本郷)
	● ひろしまの森づくり事業	1,590万円	・里山林の保全等に対する福山市への交付金
土木	● 公共事業(土木)	約68億8千万円	道路 ～国道182号、沼隈横田港線、福田戸手線、新市七曲 西城線、御幸松永線、津之郷山守線、福山沼隈線など 河川 ～改修(瀬戸川、才町川、手城川ほか)、堰 堤改良(四川ダム) 砂防 ～急傾斜地崩壊対策・地すべり対策等(柳津、金丸、 横引、野々浜、陰平川、丹屋奥谷西川ほか) 海岸 ～海岸保全施設(一文字地区、機織地区) 港湾 ～港湾補修等(箕島)、港整備(岩船) 住宅 ～県営住宅建設(駅家、蔵王) 漁港 ～漁港改修・集落環境整備・海岸保全施設整備 (横田・入双、箱崎、走)
その他	● 消防防災	50万円	・消防ポンプ操法全国大会活動支援
	● 箕島地区土地造成	5,423万円	・箕島産業廃棄物処分場覆土

注 予算額、実施箇所は変動する可能性がある。

山陽自動車道「福山SAスマートインターチェンジ」

～供用開始について～

- 福山市及びNEXCO西日本が整備を進めている山陽自動車道「福山SAインターチェンジ」が次のとおり供用開始に伴って、開通式典が行われました。
- スマートICの概要
 - 供用開始日 平成30年3月31日（土）
 - 連結位置 山陽自動車道（福山東IC～福山西IC間）
 - 利用時間 6時～22時
 - 対象車種 全長6m以下（軽自動車及び普通自動車）のETC搭載車
- 3月31日に開催された開通式典には、国会議員、福山市長、行政や地元関係者約150人が出席しました。続いて国会議員や県、福山市などの関係者がテープカットし、くす玉を割って祝いました。



一般国道313号神辺バイパス ～全線開通について～

- 一般国道313号神辺バイパスは、福山市中心部と岡山県井笠地域を連絡し、地域間の連携強化及び県道の渋滞解消を目的として、平成8年度に事業着手し、平成26年4月までに順次供用してきたところです。このたび未供用区間の1.7キロが暫定2車線で開通し、バイパス区間（3.8キロ）が全線開通することとなりました。
なお、バイパスの全線開通にあたり、開通記念式典が開催される予定です。

- 開通予定
平成30年4月21日（土）14：00

■ 神辺バイパスの事業概要

- ・路 線 名 : 一般国道313号 神辺バイパス
- ・事 業 区 間 : 福山市神辺町下御領～神御領
- ・延 長 : 3.8キロ（うち今回供用区間1.7キロ）
- ・事業着手年度 : 平成8年度
- ・全体事業費 : 約118億円

■ 開通式の概要

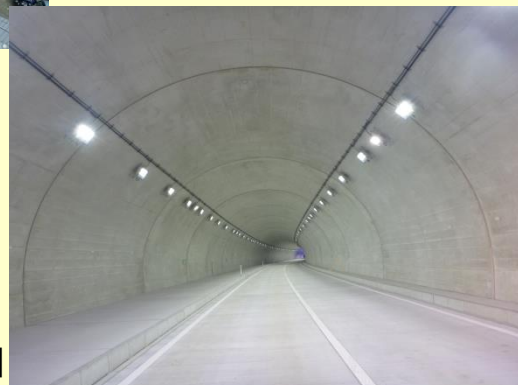
平成30年4月21日（土）10：00開始（神辺トンネル付近を予定）



【施工状況】



【トンネル外観】



【トンネル内部】

農林業活性化議員連盟の活動

～活動報告について～

- 私が会長を務める広島県農林業活性化議員連盟は議員40名で構成し、農林・林業の活性化や農山村の振興のために活動しています。
この度、各議員と広島県森林組合連合会や地域の森林組合の皆様との勉強会・意見交換会を開催しました。
- 特に平成31年度からの国税の森林環境税（仮称）を活用した新たな森林管理の仕組みについては、林業の成長産業化への新たな期待や、県への要望など生の声をお聞きしたところです。
- 当日頂戴した多くの声を、今後の県政に反映させるべく、しっかりと取り組んでまいります。



【勉強会の様子】



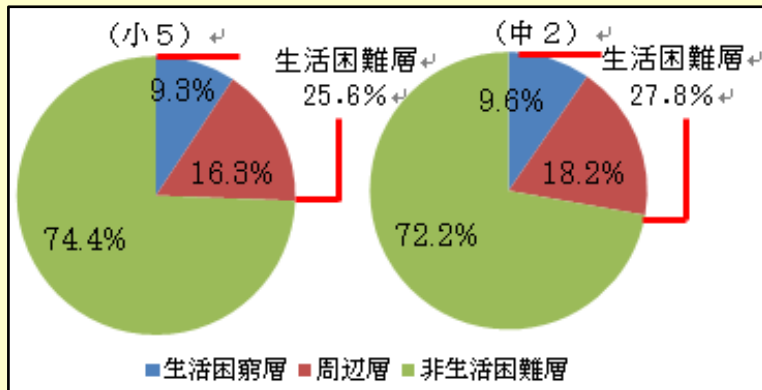
【会長のあいさつ】

子供の生活に関する実態調査 ～学びのセーフティネットの構築を推進～

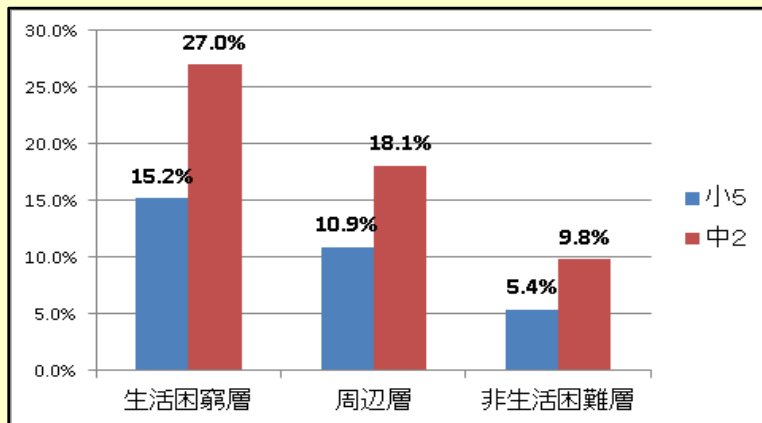
■ 本県で実施した子供の生活に関する実態調査の結果が、昨年12月に公表されました。

■ 主な調査結果は次のとおりです。

1 生活困難層の家庭が4分の1以上を占めている。



2 授業が分からないと感じる子供は生活困難層に多い。



■ これらの実態を踏まえて来年度の施策として、多くの子供たちが厳しい環境に置かれており、その子供たちの多くは、学力が不十分であり、あるいは、体験活動の不足や生活習慣が身に付いていないなど、健やかに夢を育むことができる環境が十分に整っていないことから、確かな学力を育み、希望する進路につなげる取り組み、折れない心やあきらめず粘り強く取り組む力等を育む取り組み、成育環境の整備などの「学びのセーフティネットの構築」に取り組んでまいります。